



デジタルギフト・商品券で市民を応援

物価高騰対策

【デジタルライフ応援事業】 (行政経営デジタル戦略課)

国などによる支援の対象外とされることが多かった働き盛り世代の経済的負担を軽減するため、19歳以上64歳以下を対象に、1人2,500円分のデジタルギフトを支給しました。

【シニア世代生活応援事業】 (介護福祉課)

高齢者の経済的負担を軽減するとともに、安心して日常生活を楽しめるよう、(株)カスミとの包括連携協定に基づき、65歳以上を対象に、1人2,500円分のカスミ商品券を配布しました。



市民が集える多目的スペース

コミュニティスペースみらい (財政課)

伊奈庁舎の敷地内にある「コミュニティスペースみらい」は、美術作品の展示ギャラリーや市民同士の交流スペースなどとして活用されています。

令和7年度に全10回にわたり開催された、つくばみらい市美術作家協会による展覧会「2025 アートのバトン」は、多くの来場者でぎわいました。



投票しやすい環境づくり

投票所を増設 (選挙管理委員会(総務課内))

みらい平地区の人口増加に対応するため、令和7年7月、富士見ヶ丘小学校に「みらい平第3投票所」を増設。投票所の混雑が緩和され、スムーズに投票ができるようになりました。

また、これまでにも「みらい平コミュニティセンター supported by 成島建設」の期日前投票所の受付開始時間を、午前10時から午前8時30分へと繰り上げ、投票環境の改善に取り組んでいます。